

最先端・次世代研究開発支援プログラム運用基本方針(概要)

背景

政権交代を契機として、平成21年度第1次補正予算における最先端研究開発支援プログラムの全体を見直し、1000億円を平成21年9月4日に決定した30の研究課題に配分するとともに、500億円を若手研究者等のための新たな支援策に充てるとの方針を第86回総合科学技術会議(平成21年12月3日)において決定。

1. 目的

- ①将来、世界の科学・技術をリードすることが期待される**若手・女性・地域の研究者への研究支援**
- ②「新成長戦略(基本方針)」※に掲げられた**グリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションの推進**

※平成21年12月30日 閣議決定

2. プログラムの内容

- ①自己の責任において主体的に研究開発を進めることが可能な若手研究者又は女性研究者を対象。研究内容の地域性も考慮。
- ②グリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションを対象主題とし、人文・社会科学的側面からの取組を含め、挑戦的な研究課題を幅広く対象。

科学・技術によるグリーン・イノベーションの推進

環境・資源・エネルギー・食料分野にこだわることなく、基礎研究から出口を見据えた研究開発まで、地球温暖化を克服し、持続的な発展が可能な社会の実現を目的とした挑戦的な研究開発を幅広く推進。

科学・技術によるライフ・イノベーションの推進

生命機能や疾患原因の解明等の基礎研究から出口を見据えた研究開発まで、健康社会の実現を目的とした挑戦的な研究開発を幅広く推進。

3. 最先端・次世代研究開発支援プログラムの進め方

